



## 8 悠遊庵さんぽみち



### サロンのテーマ・目的

「元気で長生きしよう」を合言葉に、市内在住の60歳以上の高齢者で、おもに一人暮らしで引きこもり・出不精の方・介護疲れの方の憩いの場。

開設年月日 平成15年8月8日  
開催拠点 悠遊庵さんぽみち  
連絡先 TEL: 029-821-9713  
FAX: 029-821-9713  
代表者 田之室 光子

1回の参加人数 平均24人  
1回運営スタッフ数 平均3人  
利用料(参加費) 100円(他に材料代がプラス)  
年間予算額 5,990,000円  
(平成20年度実績)(内訳) 助成金 5,340,000円  
利用料(参加費) 650,000円

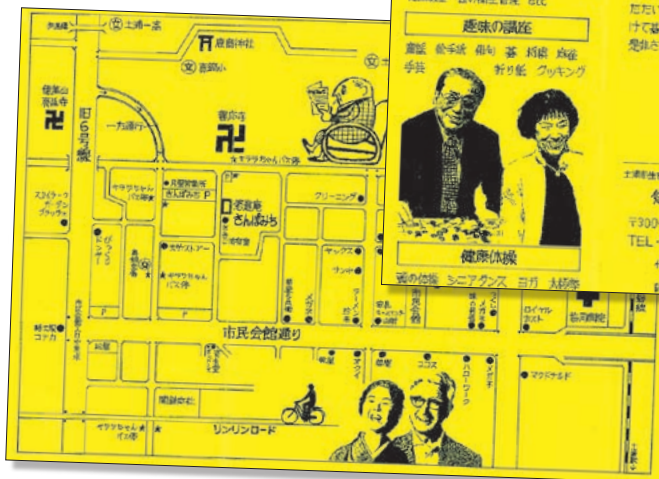
### 活動の概要

9時～17時の間、一回100円の利用料を納めれば、施設の出入りは自由。おしゃべりの場・趣味を生かす場・健康を維持する場等さまざまなことに活用する場。特に一人暮らしの方は一日中話しをすることなしで過ごすことが多いので、助け合い、支え合いの場としています。

### 身近な人材や施設など地域の社会資源の活用

空き家、空き店舗を利用した市のまちづくり活性化の一環として、住宅の中の空き家を借り入れました。

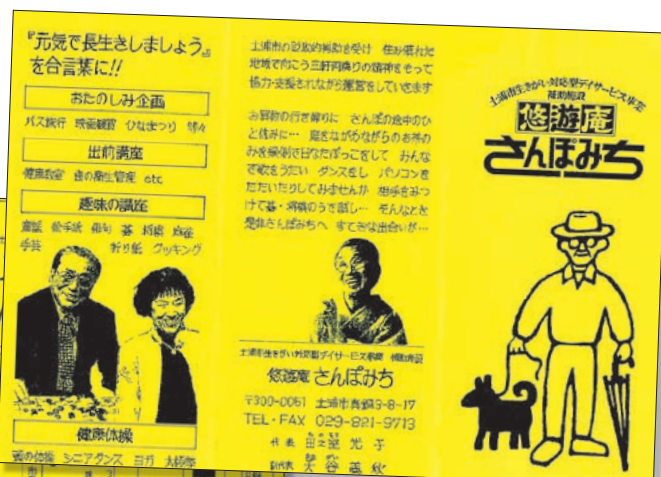
スタッフの中で、知人や友人に声をかけ、教えることも「生きがい」と無償で引き受けてくれた人を講師にしました。カルチャーセンターとの違いは時間のある利用者がこの施設で楽しく一日を過ごすことです。



### サロンの特徴

講師と利用者がお互いに日時を決めて1ヶ月の予定を立てている。約15～20の講座があり、さらに空き部屋があれば自由に利用できます。

その他、毎月1回将棋・麻雀大会、年に4～5回のイベント、年2回くらいのバス旅行、地区公民館文化祭時には作品の展覧等を行っています。





## サロン実施にあたって苦労したこと

### 人 集 め

立ち上げ当初は友人二人で話しを進め、スタッフ（常勤・パート等）は開所まで3か月あったので、少しずつ人集めをしました。常勤者二人のうち、一人は男性で、知人の紹介で58歳と若い方を選び現在に至っています。

他のスタッフは、ボランティアを含め、3～6人が来てくれています。イベント時は5～6人のボランティアがプラスで協力いただいています。

### 活動拠点

60歳以上の高齢者が利用するので、庭が広く、平屋でバリアフリーに改修できる場所。また近くにスーパー、銀行、病院等がある所…。今の場所にピッタリでした。

施設は出入り自由のため、ちょっと病院へ、お弁当や買い物にスーパーへと大変便利なところです。

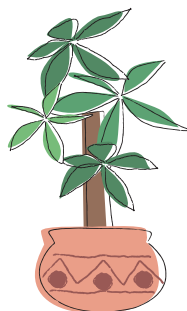
### 財 源

運営費（家賃、人件費、諸経費等）は全額市の補助です。

一日利用料100円の内訳は、施設内での損害保険代、茶菓子代です。しかし、イベント等の経費は利用料のみで出さなければならないため、やりくりが大変です。

## サロン開催の効果

年間約7,000人（一日平均24人）の利用者がいますが、そのうち約65%が独居老人、20%が高齢世帯、残りが介護者・その他という割合です。独居解消、ひまつぶし、悩みをお互い語り合う場として「お互い元気で長生き」、「支え合い・助け合い」と利用者同士のかけ声の中、に日々元気に出てくることを楽しみにしてくれています。



## サロン開催の課題、今後のサロン活動への想い

市の補助金が年々減少気味のため、心配があります（利用者からの物品の寄付はあります）。

ロコミで月2～3人の新しい利用者が増えてはいますが、90歳前後の元気な利用者もいるので、幅広い年齢層のまとめがうまういかが課題です（例えばバス旅行は、歩くところを減らしたり、ゆっくり美味しい食事をとれる場所を選ぶなどの工夫をしています）。



## 委員からのプレゼント

当サロンは、市からの財政支援を受けながら、60歳以上の高齢者を対象に楽しく活力ある日々を送るための場、介護疲れの方の癒しの場を提供することを目的とした活動を実施しております。

スタッフ4名・ボランティアによる自主的活動を行っており、会員の要望を取り入れたプログラム、会員の有する技能経験を活かしての充実した活動を行っています。

年間の活動参加者は7,000人。高齢者の生きがい支援、介護予防等に寄与していることが伺えます。

土浦市では、生きがい対応型デイサービス事業として同様な補助施設を6か所設立し、高齢者支援活動を展開しています。他の市町村では見られない土浦市の取り組みに敬意を表すると共に、他市町村でもこの事例を参考に、高齢者支援施策に取り組むことを期待しています。

（柏倉 稔委員）